



シンガポール・チャンギ便り Part.1



～SHN 中に思ったこと＊My 三大プレッシャー＊チャンギ校の様子 (オンラインを通じて) ～

こんにちは。

ホテルは政府指定ということもあり、ROYAL PLAZA ON SCOTTS という巷では5つ★のホテルで快適に過ごさせていただいています。

ただ、やはり隔離ということ、毎日政府へ健康状態をアプリを使って報告し、政府からは毎日(多い時は3回)、確認の連絡が入ります。

11名の仲間と毎日LINEを使ってやりとりし励まし合いながら、入国してからの手続き、文科への諸手続き、派遣先のチャンギ校の先生たちとの学年会、引き継ぎ、会議、ICT研修と毎日オンラインで行っているところで、様子が見えない中、気持ちだけ焦りつつ、寝る時はへとへと。毎日、乗り切っている、といった感じです。早く普通の生活がしたいですし、チャンギの子どもたちに会いたいです…！！

またここチャンギは、児童は元より先生方も多いので、授業はもちろん、打ち合わせや提出書類全般が全て(学級通信も紙は× )Chromebookのclassroomやcurrents(カレンダーツ)というのを使得行われており、ICTができないとチャンギにはついていけない様子です。  ICTが苦手な私は、担当の先生がいらっしゃるのでとにかく放課後残ってでも、聞いて学んで身に付けて、ついていかなければなりません。(プレッシャー①)

私が2月の半ばに、本校の校長先生より仰せつかった人事は、3年生(4クラス)の学年主任です。(プレッシャー②)

シンガポールは、多民族国家、多様な文化をあわせ持つ国だけに、グローバル人材育成の指定校にもなっており、その一環として国際理解教育にも力を入れているとのこと。こちらに来て教務主任からいただいた組織表では、その主任にもなっていました…。(プレッシャー③)

チャンギ校では、年に3回、先生たちに呼びかけて、マレーシア・インド・中国の民族衣装を着て、子どもたちをお出迎えし、一日を過ごす「民族衣装デー」が設定されています。しかも、自前で用意なくてはいけないことを知り、とってもびっくりしました。今年は5月13日の「ハリラプアサ」というイスラムのお祝いの日に向け、民族衣装のお買い物から始まりそうです…。(得意分野^^) インドの日には、ステキなサリーを着て、子どもたちをお出迎えしよう…そう心に決めました…！




私が感動したことがあります。

それは、受入委員会の先生方(お世話係)のご奮闘ぶりです。年度末業務、新年度業務で大変な中、ここまで気を使い1年目の私達への業務をこなしお世話をしてくださるのか、と唯々感謝が溢れますし、次は私達がしっかりさせていただかなければ、というすでにプレッシャーの中にいますが、日本人学校の素晴らしき、よき伝統みたいなものを感じ、とっても感動しています。

先輩たちは、このような体験を一つ一つされてきたのですね・・・！日本人学校の伝統、先輩たち、ほんとうにステキですね！

そんな中、シンガポールでの新居も決まり、本契約を委員会を通じて行いました。淡路島と同じ面積に人口570万ほどですから、ほとんどが高層マンション(コンドミニアム)で家賃は30万前後です。私は、比較的チャンギ小学校に近い、コンドに決まり、プールが付いている！と噂を聞いています・・・あまり期待せず楽しみにしています。

(単身の女性先生が6人いてみんなここ周辺  仲良くしています)

また、日本を発つ前、元柳町小教頭先生であった現・笠松校長先生に次の貴重なアドバイスをいただきました。



- ① 水をいっぱい飲んで汗を出す体づくりをすること。
(北海道では毛穴がふさがってしまっているから。暑い国だから汗をとにかく出す。)
- ② 気力、体力を保つためにも、我慢してでも3食のご飯はしっかり食べること。
- ③ 1年目は、とにかく大人しくして、様子を見ること。

※③は、相当な努力が必要だと自覚しておりますが、しっかりがんばります。

- ①・②は約束をしっかり守り、毎日実践できていますよ～。隔離のホテルでしっかり飼育され、ぶくぶく成長しています。🐶

まだ外界には出ていませんが、赤道直下の過酷な中で生き抜く、とても大切なアドバイスだと感じています。パナマでの貴重なご体験からもとづくご指導をいただき、ありがとうございました！

今回はこの辺でシンガポール便りを終えたいと思います・・・。

ご一読いただきありがとうございました。(次回は、来年になりそうです😊🐶)



シンガポール日本人学校チャンギ校 佐藤 紀子